

今を未来に

学校評価アンケートの結果報告

2学期末に、保護者の皆様とお子様に、学校評価アンケートを実施させていただきました。保護者の皆様のアンケート回収率は96.6%と大変高く、皆様が学校の事・子どもたちの事を普段からよく考えていただいていることが、伝わってまいりました。本当にありがとうございます。

まず、その回答いただいた結果をお伝えします。別紙の集計表をご覧ください。

今年度と昨年度が比較できるようになっています。アンケート項目の()の中の言葉は、昨年度使っていた言葉になります。例えば、1は昨年度は「お子さんは自分のよいところが言えますか」となっていたのですが、「言えるか」と聞かれると子どもたちの中でも「わかっていても言えないなあ。」という子もいることから、保護者の皆様の項目も「お子さんは自分のよいところがわかっていますか」に変更させていただきました。そのため、単純には比較できない項目が、子ども用アンケートの中にも出てきます。

集計表の右側は、評価3と4の方の割合を%で示させていただきました。学校やお子様の様子が「満足しているほう」と考えていただいている方がどれだけみえるか集計した事になります。また、「評価の差」が緑色になっているのは昨年度より+2%以上、逆にピンク色になっているのは-2%以下を示しています。

保護者アンケートでは、「1 お子さんは自分のよいところがわかっていますか」は聞き方を変えたこともあってプラスポイントをいただきました。が、約4分の1にあたるお子様が「わかってないのでは?!」とおうちの方が捉えてみえることは、大きな課題がそこにあると受け取りました。また、「14『育ちのプログラム』をもとにして、ご家庭でもお子さんの将来を見据え、言葉がけをしたり、支援いただいていますか」がプラスになっていることはその浸透が進んできているということで嬉しいことですが、約30%の方が「まだまだ」と回答していただいていることから、1年生の入学の時にプログラムを配布した後、学年が進むにつれてどのように保護者の皆様と向き合っていくとよいのかは課題であると感じました。「15 通信やHPなどで学校や子どもの様子が伝わっていますか」については、約90%の方に満足いただけたという結果でしたので、素直に努力したかいがあったと受け取らせていただきました。学級によって学級だよりの発行数に違いがあるので、職員同士声も掛け合い、お子様の普段の様子を伝えることの大切さを、保護者の方も必要と思ってみえるという確認のもと、進めていきたいと思えます。

逆に「ここに課題があるのではないか」と示していただいた項目が「2 相手の気持ちを考えた話し方や接し方ができますか」(-2.8%)、「9 自分からいろいろなことをやってみようとする姿勢がありますか」(-5.0%)、「10 食後に歯磨きをする習慣が身に付いていますか」(-5.4%)、「12 約束やきまりなどを守る姿勢が身に付いていますか」(-3.7%)、「17 学校は少人数指導などていねいな指導をしていると思えますか」(-2.8%)であっ

たことは、重く受け取らなければならないと感じました。もちろん、歯磨きなどは家庭で身に付けていただく習慣で、学校だけでできるものでないという項目もあります。しかし、「豊かな感性」「やり切る態度」「生きぬく基礎」の中でも、力を入れてお子様に指導を重ねてきたと思っていた項目がマイナスに転じた理由は、職員間でしっかりと考えて行きたいと思っています。

子どもアンケートを見ると、「**2 自分や友だちを大切にしていますか**」は96.1%の子どもがそう思っていたり、「**9 いろいろなことをやってみたいという気持ちがありますか**」は91.4%の子どもがそう思っていたりします。お子様と保護者の皆様の評価の差は、学級通信などを通してもっとお子様の様子を伝えていくこと、家庭訪問も「いいことで行かせていただく家庭訪問」を増やしていくなど、普段から保護者の皆様とお子様の姿を通して話していくことではないかと、改めて職員間で確認をしました。「**1 2 けがや事故をしないように「安全に気をつけて」いますか**」は昨年度より2.9%マイナスでした。今年度はけがの多さに対して子どもたちが自分たちで意識するように働きかけました。そのことで、自分たちでけがの多さを意識したことがマイナスに動いた要因と考えています。「**1 7 いじめやなかまはずしはしていませんか**」も4.0%マイナスに動きました。この項目は昨年度まで「差別」という言葉を使っていて、子どもたちが使っている言葉「なかまはずし」に変えたことが大きな原因であると捉えました。その上で「1 2」も「1 7」も、子どもたちとともに向き合って解決していかなければならない課題と考えています。

保護者の皆様も子どもたちも課題に感じていると回答をいただいた項目が、「**読書**」に係る項目でした。毎週木曜日の朝は読書の時間をとっていますが、来年度に向けて、この取り組みの広がりを検討していきたいと思います。また、中校舎から図書室に行きやすくするため、現在教育施設課に昇降口上の屋上を通行できるように、安全対策をお願いしている所です。さらに、学校予算での児童図書購入も学校の特色化として予算要望をしていて、子どもたちが読みたくなる本がいっぱいある学校図書館づくりに努力していきたいとも考えています。さらに保護者向けのブックトークなどを開催し、保護者の皆様にも「読書」の大切さをご理解いただく取り組みも考えています。「読書」に興味を持てるように、学校でもこうした点を改善していきますが、家庭でも読書ができるように協力いただくことも必要かと考えます。例えば、家族で「読書タイム」を作っていたり、お子様が読書を始めたらテレビを消したりするなども、効果的かと思います。ご協力ください。

【保護者の皆様からいただいたご意見に対する学校の考え】

いただいたご意見	学校側の考え
【指導・方向性】学校が落ち着いて授業に取り組み、学ぶ喜びを味わう場であってほしいと願っています。	その願いは私たちも同じです。その為にも、共に学び合い、高め合う授業づくりに努力していきます。
【指導・方向性】子どもたち同士で切磋琢磨し、お互いに刺激し合える関係をつくって欲しい。	互いに良い競い合いが生まれるよう、その仕組みを考えていきます。
【指導・方向性】個人の得意なことや魅力を引き出してもらえるような指導をしてもらいたい。	そうしたことを捉えていることも含め、もっと保護者の皆様にお子様の良い所を伝えていくことが大切だと感じます。

いただいたご意見	学校側の考え
【プログラム】育ちのプログラムの捉え方として、先生方の指導の心構えと捉えています。	もちろん、私たち教職員も大切な指導の方向が書かれていると捉えています。また、保護者の皆様と同じ向きで歩いていくためのものでもあると考えています。
【プログラム】育ちのプログラムになぜこだわるのか。学力がおろそかになっていないか。	育ちのプログラムは将来の夢を達成するために、学力保障も大切であるという捉え方が書かれています。が、その意図が十分実現されていない所に課題があります。
【生活・指導】先生や目上の人に対して、敬語で受け答えできるようにしたい。	子どもたちにも、穏やかな言葉遣いが心地よいことを伝え、場や相手に応じた言葉遣いがあることを指導しています。
【生活・指導】みんなの下校時刻より少し早く校長が一人の児童と通学路でない道を帰っている姿をみかけます。何か事情はあるのでしょうか、気になります。	児童の様子については全てお伝えできていないこともあり、申し訳なく思っています。児童には「今はいっしょに帰ることができない理由がある。」と説明はしてきました。3学期に入って、他の児童と通学路で下校しています。ご心配をおかけしました。
【授業・学力】学校での図書の時間が少ない。基礎学力の基礎は読書だと思う。	上述もしましたが、読書量が増える仕組みを考えています。
【授業・土曜授業】土曜授業で、地域との連携も大事だが、学習の補充や発展学習の時間にしてほしい。	土曜授業については、今後も取り組みながら見直しをしていきます。今まで平日にあった行事などを土曜授業日に入れたりもしていて、その分平日の授業確保になっていることもご理解ください。
【学力】苦手な教科などの補修時間を設けて欲しい。	十分ではありませんが、のびっ子タイムを始めました。また、朝の基礎学習の時間や授業の始まり3分～5分を復習時間に活用している学校もあるので、研究していきます。
【行事・授業】かけ足タイムやマラソン大会の持ち方を、以前のように行い、順位もつけられないのか。	今年度は、一定の運動を一定の時間続けることを目標に、練習の中で一定の速さで走ることを身に付ける「ペース走」に取り組みました。ペース走を身に付けることで、オーバーペースで走ることなく、安全に取り組み、体力をつけることができると考えています。が、体力（持久力）を十分につけることができたかは課題として残りました。体力向上のために日常的に5分間走などにも取り組みたいと思います。その上でマラソン大会が必要かどうかは、次年度検討をしていきます。
【行事・授業】マラソン大会があれば子どもの励みになります。他校では親が応援しに行くマラソン大会があると聞きます。	
【行事・授業】マラソン大会をしてほしい。子どもも望んでいます。競争の機会も必要だと思います。	
【行事・PTA】学年行事がいつのまにかなくなっていた。親子で取り組めるようにしてほしい。	保護者の皆様の負担軽減ということで、PTA総会の際でも確かめながら、取りやめてきた経緯があります。PTA役員会へ伝えます。

いただいたご意見	学校側の考え
【行事】6年生を送る会の本番が見られたらと思います。	全校の保護者の皆様に入っていただくには、スペースに余裕がありません。今年度もリハーサルの時間をお知らせして、見学いただけるようにしていきます。来年度については、計画の段階で検討していきます。
【行事】子どもが考えてやれる行事をもっと増やしてほしい。	児童集会などがありますが、その姿を公開できずに来ました。来年度は、人権の集いや児童集会を土曜授業に重ね、公開の機会としていきたいと考えています。
【行事】学級の取り組みの発表の場を設けて、親も見られるようにしてほしい。	授業参観や土曜授業などの機会を通して、そのような場を設定していくように努めます。
【学校だより】学校だよりは学校の様子がわかり、興味深い内容もあり、必ず読んでいます。	とても嬉しく感じました。子どもの様子を中心に記事を今後も書いていきます。子どもたちにも助けてもらっています。
【学校だより】具体的な様子が学校だよりで伝わるようになり、子どもたちも良い影響を受けている。	
【学校だより】学校だよりで先生と保護者が確認し合いたいことや、子どもの様子がよくわかります。「ちょっといい話」がたくさん聞けて、学校の雰囲気高め合い、学び合って成長できるといいなと思います。	
【先生】担任の先生の対応がしっかりしていて安心してしています。	ありがとうございます。引き続き努力していきます。
【先生】いつも遅くまで電気がついていて、先生方が子どもたちのために仕事をしてくださっていることに感謝しています。	ありがとうございます。翌日のために早く帰らなければならない思いながら、授業の準備や家庭訪問などで、なかなか勤務を切り上げられない状況が続いています。
【生活】机の引き出しを持ち帰るかどうか、学校で統一してほしい。学年末だけでいいのではないかな。	来年度から4月の始業日に持ってきてもらい、年度末（3月終了日）に持ち帰ることを基本としますが、引き出しの汚れ具合や家で洗ってきれいにしたいという子どもたちの思いもありますので、その点はご了解ください。
【校区・四日市市】中学校に上がるのにどの学校とも一緒にならないのはどうか。西朝明中と合併してもいいと思う。	1小1中の良さを子どもたちの成長としてご理解いただけるよう、努力をしていきます。ご意見は教育委員会にも伝えます。
【保護者】授業参観・自由参観が多すぎて、親同士の会話などで子どもが集中して授業が受けられていないのではないかな。	開かれた学校づくりを目指して、参観の機会は精選しつつも、できるだけ確保していきたいと考えています。保護者の皆様のご協力をお願いします。

子どもたちの意見は、とても前向きな意見や考えが多く、自己反省をしたり、先生が普段から大事にしたいと伝えてきたことを挙げてくれていました。「学び合いの授業」が心地よいこと、みんなで考え合って「わかった。」と言えることはすごく達成感があり、そのことが「なかまづくり」や「学力」に結び付くことは、子どもたちが意見として教えてくれているように感じました。

今年最後のクラブ活動でした。・・・3年生も見学に回りました。

1月28日（水）今年度4回目のクラブ活動が行われました。来年度に向けて、3年生の子どもたちがクラブ活動を見学に回る中で、行われました。高学年の活動の様子を見て、どのクラブに入りたいと思ったのか、またお家でも聞いてあげてください。

たくさんの外部講師の方に応援いただいて、クラブ活動が実施できましたことお礼申し上げます。今日クラブの最後に、子どもたちからのお礼の手紙を渡させていただきました。



茶の湯



将棋



ミニバス



カード作り



ハンドベース



ドッジ



図工



理科



卓球



英語



点字



料理



ミニバレー

この他に、サッカー、トランプ・かるた・百人一首のクラブがあります。全部のクラブが回れなくてごめんなさい。来年度は、月曜日の6限目に年6回・60分のクラブ活動を予定しています。楽しみに！